

# 『甲斐国志』に見る中世武田氏の絵画

守屋正彦

飯綱ノ画像・刀八毘沙門ノ画像

共ニ信玄  
寄附ト云

渡唐ノ聖像・欹器ノ図

共ニ勝頬  
寄附ト云

卷五十八 神社部第四 八代郡大石和筋

該當作品なし

卷五十九 神社部第五 八代郡小石和筋

美和明知

二ノ宮村

永禄六年信玄義信奉納ノ三十六歌仙

卷六十 神社部第六 山梨郡中郡筋

該當作品なし

卷六十一 神社部第七 巨摩郡中郡筋

該當作品なし

卷六十二 神社部第八 八代郡中郡筋

諏方南宮明神 寺尾村

扉ハ逍遙軒信綱寄附松杉桜四季ノ草花等モ画ク

一社分ノ扉ハ  
今下曾根村ノ扉

本稿は中世における『甲斐国志』上に記された絵画に限定して抜粋した抄録である。多くが武田氏に関連していたため、そのままに神社部、仏寺部を記載順序のとおりに列举したものであり、文中（未詳）を除いてはある程度時代の判断できる作例であるが、ここでは原文に忠実に従おうとしたため、今日に使用される表記でないままのものもある。

## 《神社部》

卷五十五 神社部第一 山梨郡府内

該當作品なし

卷五十六 神社部第二 山梨郡万力筋

八幡宮 八幡北村（羅八幡神社）

三十六歌仙但シ一枚不足天文十四年武田晴信信州伊奈郡箕輪攻ノ立願ニ付直筆ニテ奉納画工ハ權少僧都宥純也板記二枚アリ

橋辨慶画宮内少輔奉納

卷五十七 神社部第三 山梨郡栗原筋

熊野權現

熊野村

神社校者曰クコノ社即チ福年明  
ニシテ扉ナホ存セリ

- 一 卷六十三 神社部第九 山梨郡北山筋  
該当作品なし
- 一 卷六十四 神社部第十 巨摩郡北山筋  
該当作品なし
- 一 卷六十五 神社部第十一 巨摩郡逸見筋  
該当作品なし
- 一 卷六十六 神社部第十二 巨摩郡武川筋  
該当作品なし
- 一 卷六十七 神社部第十三 巨摩郡西郡筋  
該当作品なし
- 八王子権現 落合村
- 古キ鷹ノ画アリ納ムル人ヲ知ラズ（未詳）
- 一 卷六十八 神社部第十四 八代郡西郡筋
- 御崎明神 上野村
- 十六善神 / 画像（未詳）  
文珠ノ画像（弘法所筆ト云）
- 一 卷六十九 神社部第十五 巨摩郡西河内領  
賀茂明神 下山村
- 信玄奉納ノ短刀・数珠・中啓・毘沙門・不動ノ画像并ビ  
梅雪斎ノ扇子等アリ
- 卷七十 神社部第十六 八代郡東河内領  
該当作品なし
- 卷七十一 神社部第十七ノ上 都留郡郡内領  
富士浅間明神 上吉田村
- 永享元戌年六月結城上野守基氏奉納兜前立鏡毫面、菅家神影  
一幅筆者未詳又讚岐守秦安澄所筆ト云フ
- 永享元戌年 校者曰ク永享元年ハ己酉ニシテ同  
二年庚戌ナリ思フニ二年ノ誤リカ 六月結城上野守基氏
- 奉納兜前立之鏡一面 桐ノ紋五ツアリ柄 菅家神影一幅長二尺九寸八  
分画絹粗ニシテ太シ近代ノ物ニアラズ筆者不レ詳ナラ或ハ  
云フ 讚岐守秦安澄所筆ト言ヒ 伝フ 不レ知ラ是非ヲ一容貌  
如シ 生ケルガ 上代ノ妙手ナルベシ
- 一 卷七十二 神社部第十七ノ下 都留郡郡内領  
該当作品なし
- 《仏寺部》
- 一 卷七十三 仏寺部第一 府中  
稻久山一蓮寺
- 応永廿九年寅仲冬廿五日武田信重所藏渡唐天神ノ画  
ノ筆○金校者曰ク金岡ニ非讚也  
ス明兆ノ筆也 詩偈廿首 洛下落門ノ諸老詠之  
詩偈廿首 洛下落門ノ諸老詠之  
信玄嘗テ臨写シテ為  
沙弥花押 武田信重
- 大永二年身延山日伝授ニ与スル信虎一ノ大曼荼羅一幅按  
此年信虎二十九歳於身延山得度セシコト勝山記ニ見コ鏡中案長遠寺  
ニ同年二月日授ニ与左京大夫信虎ト記タル日云ノ曼荼羅一幅アリ

功德山尊躰寺 金手町

寺記ニ曰フ

本尊真向ノ弥陀三尊ハ唐ノ善導大師因リテ

ニ

則天皇后ノ需メニ所レ写スナリ

二

糸道隆将チ来リシヲ初メ

置キ禁中ニ遷シ石清水ニ又武田信虎ニ伝ハリ大永中遂

ニ当寺ヲ創シテ本尊ト為ス

古筆ノ画(未詳)

甲福山教安寺 金手町

墨画ノ觀音勿廢ノ筆(未詳)

弥陀ノ三尊ノ筆張思慕(正しくは恭)

瑞雲山長禪寺

逍遙軒信綱ノ渡唐天神自画贊一幅

瑞雲院殿ノ肖像一幅(信筆ノ所レ画上ニ自詠ノ和歌又安之叟ノ贊辞アリ)

清水山万歳院 大工町

(梵字)不動ノ画像弘仁中於二東寺一所レ写ス禁中ニ上

ツリ後ニ叡山法性院ノ什物トナリシヲ晴信落髪ノ刻ミ請

ヒ受ケテ旗屋ノ本尊トス

万年山大泉寺 古府

法性不動(此像ハ天文中寺域ニ毎夜光り物アリ三ツ頭ノ山頂ニ及ブ如レ虹信玄使三人掘レ地獲不動像一軀乃チ胄ノ前立トス其地ヲト云)

今虹池又不動滯ト名ヅクト云

信虎ノ画影 春国ノ譜辞

祖師ノ絵像 古法眼ノ筆勝  
賴ノ所レ寄

涅槃像 王維ノ筆ト云  
勝頼所レ寄

外ニ古画ノ類多シト雖モ省略シテ不レ載

藤光山法華寺 細工町

三十番神・七面明神・松尾ノ神像ハ寶鏡院ノ宮ノ筆額

一卷七十四 仏寺部第二 山梨郡万力筋

光明山帰命院 東光寺村

曼陀羅一幅恵心(信玄寄附)

天満宮画像(信玄筆)

松本山大藏寺 松本村

八祖画像(八幅)

涅槃画像(僧靈彩筆永享七年  
裏書ニ松本山トアリ)

一卷七十五 仏寺部第三 山梨郡栗原筋

等力山万福寺 下栗原村

太子馬上ノ像・同御爪髪・南無仏分身舍利・阿弥陀善導大師ノ影像各々古画ナリ、親鸞色裳ノ絵像、并ニ法然親鸞連座ノ影像

曼荼羅 師頼源律

等力山万福寺 等力村

(親鸞ノ) 絵伝六幅 (覧如銘、土佐光業画)

法然絵伝二幅 (古筆也當宗念仏)

光明品一幅 (古筆也當宗念仏)

万福寺絵伝二幅 (古筆也當宗念仏)

又古跡ノ

方便法身像 (一貫代如來裏書アリ大永壬午四月十日美如在判前住順勝ニ所賜ナリ)

右ノ外古人書画ノ類多シ

円成寺 東泉坊

臨濟禪師画像一幅

休息山立正寺 休息村

其ノ外古伝ノ書画経文ノ類略シテ不二枚挙セ

柏尾山大善寺

大般若本尊十六善神 (画面ニ書アリ願主道清岩崎竹内筆者知泉表絹本願西光坊長祐律師文明十六年甲辰霜月廿三日)

不動画像一幅 (堅一丈一尺二寸五分横一丈五尺余表具天二尺五寸地一尺二寸五分縁一寸五分也)

巨勢金岡筆也背ニ記シテ云フ 初度爰ニ甲州岩崎一分ノ地頭

武田筑前権ノ守源武政以テ錦ヲ表具被ル 加ニ修理ヲ

者也嘉元四年丙午二月廿八日尔后之表本當寺住僧式部公長辻

校者曰ク辻ハ遷(俗字迂)此ノ近里ヲ勸化被レ加ニ修補ヲ

畢ヌ時住寺岩殿ノ権少僧都明泉代別当権大僧都榮賢表背

師校者曰ク表背錦之住僧聖通延徳元年己酉九月八日人皇六十代醍醐帝延喜年中金岡書クト之ヲ糺二明スルニ年代ヲ

慶長壬寅年迄凡ソ七百年歟慶長七壬寅七月十二日注ス之

二 当時護摩堂住紹宥ト又寛永十三亥延享二丑両度裏打表具ノ記

アリ文ハ略ス之ヲ毎年七月六日夜ヨリ十七日護摩修行天台大師画像ノ表装ニ記シテ云フ奉ル三表一補ニ絵シ

天台大師ノ御影ヲ甲斐国柏尾山公用也天正五年丁丑霜月

大師當番常行掌摠持院慶紹法印願主是也

塩山向岳寺 信玄自画ノ不動ノ像等アリ

裂石山雲峯寺 上萩原村

達磨ノ画一幅上ニ隆蘭溪ノ贊詞アリ亦附錄ニ載ス此レ

ノ達磨ト云ヒ伝ヘタリ何人ノ所ニ模写スルニヤ未ダ詳ナラ

冥府ノ古画十幅

羅漢十六幅

達磨ノ画一幅上ニ隆蘭溪ノ贊詞アリ亦附錄ニ載ス此レ

ノ達磨ト云ヒ伝ヘタリ何人ノ所ニ模写スルニヤ未ダ詳ナラ

冥府ノ古画十幅

楊補ノ梅

錢舜举ノ蓮

雪舟ノ雁、各々双幀也又有リ東坡ノ竹、補之ノ梅大幅一

有レ故今之ヲ亡スト云

其余和漢ノ墨跡及ビ品類尚多シ

乾德山慧林寺

夢窓肖像一幅 (周豪芳ノ筆芳ハ夢窓ノ嗣法鑑倉ノ永安寺開山也管テ當寺ニモ輸住セリ)

—57—

牧溪ノ羅漢画十六幅

信玄寄進ノ由頬背ニ快川ノ記アリ壬午ノ兵  
燹ニ亡之今第九第十二存ニ二幅ノミ

同緋衣達磨像一幅

可翁ノ海島大士像一幅

不動ノ画一幅

逍遙軒筆  
甲冑立像

和漢古书画器品甚ダ多シト雖モ不一枚擧一セ

高橋山放光寺

藤木村

其外古书画アリ天正壬午ノ兵火ニ罹リシ故武田家ノ文書古鬼

鎌等總テ伝ハラズ

(興教大師ノ画不動一幅。)  
(つづけて記されている。)

一卷七十六 仏寺部第四 八代郡大石和筋

金剛山慈眼寺

末木村

勝頼ノ遺物ヲ高野山ヘ贈リシ書稿

(書稿中に高野山引導院収  
蔵の絵画の記載あり)

勝頼公并=御台所御曹子ノ寿像一幅

大勢至菩薩

勝頼公御守本  
尊小野道風筆

一幅

妙龜山広嚴院

中沢村

一面觀音ノ画像

金剛ノ筆ト云  
信玄ノ寄附ナリ

一卷七十七 仏寺部第五 八代郡小石和筋

宝林山広濟寺

奈良原村

十六善神画像

司兆殿  
筆

一卷七十八 仏寺部第六 山梨郡中郡筋

鳳堂山仁勝寺

小瀬村

鳴鶴ノ画扇

右馬助所レ  
持ト云

玉樂ノ画扇

今川氏真ノ  
所レ持ト云

一卷七十九 仏寺部第七 巨摩郡中郡筋

該當作品なし

一卷八十 仏寺部第八 八代郡中郡筋

七覚山円楽寺

右左口村

古筆仏画等多シ

(記載なし)

一卷八十一 仏寺部第九 巨摩郡北山筋

該當作品なし

一卷八十二 仏寺部第十 山梨郡北山筋

長松山惠雲院

塚原村

開山(実ハ二世)ノ画像

逍遙  
軒筆  
讚辞

ハ長禪寺ノ森国長老

(森国ハ長  
禪寺春国)

一卷八十三 仏寺部第十一 巨摩郡逸見筋

該當作品なし

一卷八十四 仏寺部第十二 巨摩郡武川筋

台原山竜福寺

台ヶ原駅

明人ノ画ケル薬師ノ像アリ

一卷八十五 仏寺部第十三 巨摩郡西郡筋

加賀美山法善寺 加賀美村

正宅山不動寺 古市場村

御影堂 弘法大師 像 大師（未詳）

八幡神・弘法大師相互ノ御影二幅

大威德不動尊藥師五大明王弥陀三尊ノ画以上五幅（弘法大師

筆）不動明王画像智証大師筆、奉修覆聖無動明王像願主権大僧

都法師光海窃聞此靈像者智証大師御筆当家守護之重代也源太守

信玄公直ニ仰曰ク於テ三井寺新羅宝前ニ義光御元服因リ

茲号ス新羅三郎ト時ノ別當為メ鎮護國家ノ此本尊破ル進

一上セ義光ニ從リ其以來代々仰信異ル于他ニ爰ヲ以テ為

二ル鎮国安民道場一故法善護国寺ニ奉リ令メ安置セ給フ正

五九之祈禱之外莫キ奉ル掛此尊ヲ而已維時永禄十三稔

庚午初夏十四日書ス旃細工岡本秀善法善護国寺々務権大僧

都法印光海、此像命アリテ後ニ高野山ニ贈ルト云フ寛延二

年六月一日高野山西院谷平等院ニテ直ニ書ニ写シ之ヲ了ル

法善寺ノ住海応弟子密辨演三房トアリ

十二天画一幅恩果和尚筆

不動尊画一幅覺鏡上人筆

菅相丞 像一幅

三千仏 画像三幅 文明十一己亥霜月勸進沙門

十王冥府 唐画十三幅 武田晴信寄進元龜四年癸酉三月廿一日

子昂 画一幅 法印光海ト毎錦ニ書アリ筆者不知

雪村 三幅對

金剛山明王寺 春米村

不動明王 画像二幅 弘法大師ノ筆  
鳥羽僧正範俊筆

如來荒神 画像一幅 弘法大師ノ筆

徳栄山妙法寺 小室村

古筆古画數本（未詳）

一 卷八十六 仏寺部第十四 八代郡西郡筋

金剛山宝寿院 市川大門村

不動 画像（未詳）

川浦山藥王寺 上野村

逍遙軒十二天 画像十二幅

河中島 二於テ信玄謙信合戰ノ図

一 卷八十七 仏寺部第十五 巨摩郡西河内領

三守皇山大聖寺 八日市場村

十王・五大明王 画像二幅（未詳）

正福寿山南松院 下山村

十六善神 像・涅槃像・達磨像 以上

菅相丞 像・渡唐天神 像 土佐家ノ筆  
策彦和尚贊画



蛤觀音彩画<sub>足尾印知</sub> 一幅兆典筆探信ノ鑑札ヲ添フ

聖德山福源寺 下吉田村

老梅鷹古画 唐画無名

涌出山福泉寺 上野原村

弥陀ノ画像

太子十六歳の御影 共ニ古画ナリ（未詳）

湧金山宝生寺 小菅村

十三仏画、相伝ヘテ 小菅遠江守家蔵ナリト云フ

十六善神、繡仏古物ニシテ破裂甚シ 盖シ 唐山舶來ノ物ナ

ルベシ

弥陀仏画影、元ト本村池ノ尼ト云フ 地ニ小堂中ニ安置ス  
（彫刻か、未詳）

一  
聖德太子画像<sub>豎三尺三寸七分</sub> 古画ナリ或云フ太子ノ自画ト  
不ト 知ラ 是非一  
卷九十 仏寺部第十七ノ下 都留郡郡内領

吉積山西念寺 上吉田村

渡唐天神ノ画 古画無ニ名氏

拈華山善応寺 川口村

唐画一幅 南極老人

西王母

十六善神一幅 古画

川応山淨泉寺 川茂村

弥陀ノ影像一幅 恵心僧

都筆

（未詳）

真木山福正寺 真木村

古絹唐画

弥陀ノ影像大幅

顕如ノ影像 日裏書元和三年四月廿八  
永中ノ画ナルベシ

岩殿山円通寺 岩殿村

十六善神一幅 大般若經中ニ属スレバ是亦

不動明王ノ古画二幅

（市史編さん専門委員）

以上が、『甲斐国志』に記載された中世絵画の目録である。実際には伝存される遺品で記されていない絵画もあり、また作者を正確に伝えていない例も窺えるが、実見していない絵画が数多く見られるので、ここでは表記のままにとどめ、私見を記していない。

武田氏に関わる絵画には、高野山に伝存する遺品もあり、また東京国立博物館等にも所蔵され、未だ、基本的な絵画目録が作成されていないのが現状である。本稿は基礎資料として作成しただけに留めたが、このことに関してはいすれ改めて稿を草するつもりである。